

私たちは、障害者が地域の人々とともにいきいきと生活している「村づくり」をすすめています。

はばたけ

NO.49

2000年1月1日発行

栃木障害者の自立をめざす会 《会員数 現在 246名》

事務局：〒328-0123 栃木市川原田町402-2 中山 全夫 Ⅸ 0282 (23) 3236

あけまして おめでとうござります



ダンスパーティー。STOの三浦さんと司会の近澤美歩さん

特集：施設建設の夢

2000年 ご挨拶

自立の会 クリスマス会99

米良美一アンコールリサイタル・会員予約販売

2000年 ご挨拶 光と風を頬で体で感じてみたい。

会長 中山 全夫

新年あけましておめでとうございます。
昨年中は会員のみならずには多大なご協力を賜り、会を代表いたしまして心より感謝申し上げます。また、新たな世紀に向けて変わらぬご支援いただければ幸甚に存じ上げます。

さて、表題の“光と風”は、遠い昔私が五歳の時の春の思い出です。

母が光の中で洗濯をしています。すると母は突然私を抱きかかえ、いちもくさんに走り出したのです。私はなにが起ったのかわかりませんでした。抱えられながら、田圃に残った少しばかりの水に降く光と頬を通る風が心地よく、今でも鮮明に脳裏に残っています。結局それは露閉塞寸前の私を見つけた母が医者に駆けつけたという話が結末だったのですが…。

しかし私の一生で、母の思い出と同時に“光と風”を感じた一瞬でした。

先日、往診をした患者さん宅の縁側でお茶を飲んでいると、本当に心地よい光と風を感じました。その時、施設建設設計説明会の場で業者の皆さんにお願いしたことを思い出しました。

施設建設の中でなにが大切か。高低差を少なくするのはもちろん、利用者が使いやすいことは当然と私は思っていますので、最大の課題は、そこで生活する仲間や職員には毎日季節折々の“光と風”を感じて生きてほしいと思っています。施設建設予定地は、本当に自然あふれる場所でもありません。私は設計業者の皆さんに、それを感じて設計してほしいとお願いしました。（また、違った意味で、光と風で隣の万々に迷惑をかけてはならないことも当然のことです。）

これからも、施設建設の取り組みや自立の会の運営には様々な困難なことがあると思います。しかし、日光連山からの吹き下ろす「男体山おろし」の強い季節風にもめげず、太陽の光と田を伝わる風を頬で体で感じながら、共に歩んでいきましょう。そして自立の会の運営については、地域の方々とともに大地にしっかりと根が張れることを願って、私の新年の抱負とさせていただきますと思います。



設計会社は（株）中央設計に決定

■殿塚 ケイ子

はばたけ第1号が発行された日（1987年5月13日）から12年。1号から眺み返してみると、私達のさまざまなことに取り組んできた力のすごさに改めて驚いています。夢だった村づくりの第一歩が目前に実現しようとしています。これからも私たちの力を信じていきます。

■谷田 美佐子

福祉ショップオープンの際には、ジーンと胸が熱くなりました。ゆうの家開所の時には何だかとても嬉しくてはしゃいでいました。新たな法人施設ができれば、仲間たちと抱き合い大声を張り上げて泣きたいです。

■薄田 和子

設計コンペに参加し、施設建設が近づいていることを実感しました。法人化した思われた施設で仲間たちが作業できる日が、一日でも早く来ることを新年に願うと同時に、また一つ年をとる自分にがんばるエネルギーを！も願います。

■本間 英樹

施設建設は最終目標ではありませんが、仲間たち一人ひとりが、一度りの自分の人生をどのように花ひらかせていくのか、そのための環境・条件を整えるために、この法人化は不可欠のものです。大変ですが、やりがいのある事業に参加できうれしく思います。

■荒川 公子

仲間たちが日々安心して働ける場の確保というところで、施設建設は早急の課題です。設備の充実の中で気持ちの余裕も出てきますし、仲間たちの力がさらに発揮されることを願っています。

■田野 静江

新しい施設では〈田舎暮らし〉が楽しそうですね。春はヨモギを摘んで〈草餅づくり〉（これは小松さんお願いね）。夏は川釣りの〈お魚昼食会〉（これは大場さんに期待しています）。秋は落ち葉を集めて〈焼きイモづくり〉（これは女性陣にお・ま・か・せ）。冬は暖かい部屋で〈雪見酒、もちろん熊鷹で〉（これはもう島田君でしょう）。〈狭いながらも楽しい我が家〉の今の雰囲気はそのまま持っていきたいものです。

■大場 英一

たったひとりの小さな不安や不満も大切にみんなで受け止め、希望を与え、その実現のために絶えず活動を持ち続ける施設、また地域の社会福祉の向上に貢献できる授産施設でありたい。

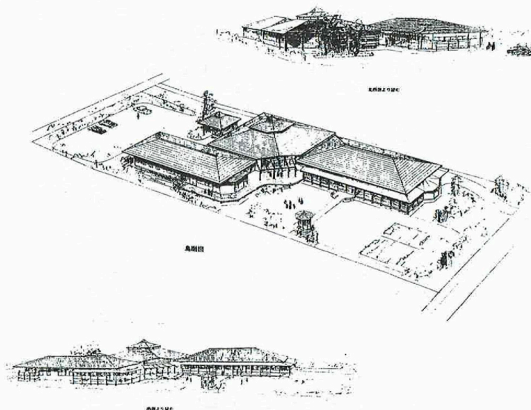


12月9日に、最終選考に残った設計会社3社を招いて、最終ヒヤリングを行いました。設計図の補足の他、障害者福祉についての知識や具体的な実務面までの細かな説明や質疑応答がなされ、各社の熱意が伝わってくる内容でした。最終選考は各建設委員による投票で公正に行われ、東京の（株）中央設計に決定しました。

12月28日に中山会長宅で、建設委員会と中央設計との間で仮契約が取り交わされました。

中央設計は全国的に施設や病院等の設計を手掛けており、豊かな知識と経験を持っています。きっと私たちの良きアドバイザー、そして施設建設の夢を実現していく力強いパートナーになってくれることでしょう。

【設計構想案】



自立の会 クリスマス会 `99

谷田 美佐子

数年ぶりに開かれた自立の会のクリスマス会です。

いつもの事ですが、人数の把握ができたのが2日前、総司会を決定したのも2日前、前日になって会場の観は?と心配する中山会長。

それでも12月12日(日)の当日は、飾り付けもお料理も企画も最高でした。参加人数は60名とちょっと少ない人数でしたが、栃養の生徒さんや先生も参加して下さいました。

オープニングはサンタさん登場!!大きな段ボールに入ったサンタ姿の新初さんは一こんな顔今まで見た事がないというくらい緊張気味、おまけに本間さんは裸足で忙しそうにおちろこちろ走り回っている始末。お陰で、キャンドルに火をつける役目の私も3回目にしてやっと火がつく…、という裏舞台でした。調理室に目やると、お母さん方(一人島田お父さんもいました)が、決められたメニューに従って、いっしょうけんめいサントイッチやおにぎりを作っていました。ケーキ用の生クリームを泡立てをしていた

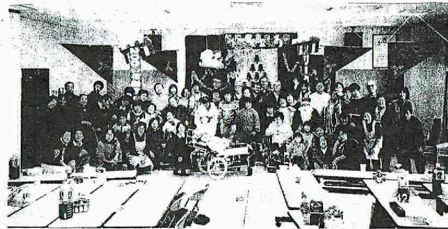
あるお母さんは、お話に夢中になり、いつになってもクリームが固まらないという一番もあつたみたいです。

会場では、誰でも楽しめる企画をということで、タヌキ・ブタ・トラさんチームに分かれて、ジャンケンゲームや福笑い、パズルで楽しんだり、午後は栃養の橋本くんのギター演奏や、ボランティアの大内さんによるフルート演奏、ゆうの家の仲間たちの手話うた…と盛りだくさんの内容でした。

いよいよ最後はデコレーションケーキ・コンテストの発表とプレゼント交換ですが、プレゼンターのサンタ役・星さんは会場の外へ出てなにやらひとりき…。どうやら即席で台詞を覚えていたようです。

このように、舞台裏ではいろいろ取り込んでいましたが、会場の中は楽しそうな仲間の顔がいっぱい。とても楽しいクリスマス会でした。

もちろん、最後は恒例の集合写真も撮りました。



第4回ふれあい大好き チャリティーダンスパーティーに参加して

薄田 和子

12月4日(土) 栃木商工会議所において、第4回目となる「ふれあい大好きチャリティーダンスパーティー」が開催されました。

ダンスパーティーなるものの経験のない私は、わが子にどんな服装をさせてよいかも不安なまま参加しました。

三浦さんのお父さん率いるスウィング・トワイライト・ジャズ・オーケストラのすてきな演奏の中、最初は先囃子で踊ることはだじろいでいたものの、いつのまにか所せましと踊っているたくさんのお客様を見て、自立の会・ゆうの家のたくまさんと、本当にたくさんの人に応援していただいているんだな—ということを実感しました。

そして、どのペアにも負けない仲間たちの真剣なダンスの発表と、車椅子ダンスサークルのすてきな演技もよかったですね!

照れ屋のせいとか、こういったものの苦手な和輝が、いっしょうけんめい踊っている様

子うられしくて目が釘付けになってしまいました。

ゆうの家の取り組みは、必ず仲間たちも楽しむ主役になれる場が盛り込まれており、感心してしまいます。

私はドリンクサービスを担当させていたがきましたが、足は音楽に乗って動きはなしでした。“あんなふうに踊りたいナー—”最後の夫婦の趣味を同じにしよう!”と、さっそくマイ・ターリンに、ダンスを習おうと誘いましたが、答えは“ノー・サンキュー”…。(内心、この人と組むと足を引く強られ、いっしょうに上達しないだろうなという不安もありましたが。)友人たちに話すと、みんなに笑い飛ばされてしまいました…。

この次のダンスパーティーまでには無理でしょうが、そのうち私の踊りを皆さんに選んでくださる日が来ますように!



'99 12 4

49-3

自立の会 イベント情報

■ 妙唱寺・大黒天

日時：1月15・16日（土・日）
場所：妙唱寺・栃木市墓石工町町
自立の会で出店します。
朝8時30分現地集合
手打ちのそば・うどん とってもおいしいのでぜひ食べに来て下さい！

■ 自立の会新年会

日時：1月30日（日）午前11時～2時
（ゆうの家保護者は10時に集合）
場所：大宮地区公民館
会費：1500円
内容：おいしい昼食を囲んで楽しい交流会

参加申し込み：1月20日までに下記へご連絡下さい。

ゆうの家 0282-24-8596
中山全史 0282-23-3236

■ 小規模作業所問題解決に向けて 共作連第23次国会請願署名

同封の署名用紙で、ぜひ皆さんの署名をお願いします。



署名と印鑑にご協力ください。

■ はばたけコンサート2000 米良美アアンコールリサイタル

日時：4月21日（金）
午後6時開場、6時30分開演
会場：栃木市文化会館大ホール
出演：カウンターテナー 米良美一
ピアノ伴奏 未定

プログラム

- 1部 ヘンデル作曲 歌劇「リナルド」より、
今、トランペットが勝利のうたを 他
- 2部 山田耕作 作曲「まちぼろけ」 他

入場料： 全席指定
A席3800円（当日4000円）
B席3300円（当日3500円）

主催：はばたけコンサート実行委員会
共催：栃木障害者の自立をめざす会
共同作業所ゆうの家

後援：栃木市・栃木市教育委員会・栃木市社会福祉協議会・栃木県知的障害者育成会栃木支部・ゆうあい工務・栃木めぐみ作業所・さくらんぼ共同保育園・都賀総合病院労働組合・栃木ライオンズクラブ・栃木都ライオンズクラブ・栃木都ライオンズクラブ・栃木都ライオンズクラブ・栃木都の街音楽祭実行委員会・栃木おやこ劇場・栃木ケーブルTV 他交渉中。

自立の会会員特典

チケットの販売は2月1日からですが、会員の皆さんには先行して、1月11日より予約申込を受け付けます。

ご希望の方は、同封の「予約申込書」にご記入のうえ、申込所まで FAX、またはご連絡下さい。先着順となりますので、良い席はお早めにご予約ください。

■ 自立の会・ゆうの家 1月の予定 ■

- 6日（木） ゆうの家・仕事初め（12月29日より冬季休暇）
- 13日（木） ゆうの家・成人を祝う集い 第15回建設委員会
- 15・16日 妙唱寺大黒天に出店
- 16日（日） 都ライオンズクラブと新年会
- 17日（月） ゆうの家・振替休所
- 22日（土） 自立の会役員会
- 27日（木） ゆうの家・健康診断
- 30日（日） 自立の会・新年会 ゆうの家保護者会・懇談会

◎ ご協力ありがとうございました

★ 売り上げ

チャリティードンスパティー収益 232,570円

★ ご寄付等

開建設機・ゆうの家募金 10,716円
谷口浩一様 慶野昭次様 落合雄雄様 西田禮子様 近沢雅昭様 美歩様 大類洋子様
中島ハル様 岡口ミツ様
ゆうあい工務様 ケーブルTV様 下部賢芳組様 開成会様

■ 話のタネ ■

いよいよ迎えた2000年。高齢者の介護保険が今年度よりスタートします。国庫の恩恵で二転三転する制度の手直し等により、高齢者や現場職員からは「せっかく見切り廃車なんだよね…」という不満と不安の声が聞かれます。

「社会福祉事業法」などの関連する法律改正が間近にせまり、障害者分野においても2003年度からは、これまでの措置制度から契約制度への変更が予定されています。さらにその数年後には介護保険の仕組みが入ってくることになるでしょう。身体障害・知的障害・精神障害分野の統合化の流れや、こうした将来的な介護保険を見越した施策のなかで、この数年後の障害福祉分野がどのような姿になっているのか、なかなか見えてこないというのが現状です。場合によっては高齢者以上に「保険あって介護なし」という状況にならない

いとも限りません。

90年代の“社会保障・社会福祉理念の見直し”というのは、社会福祉の国や公的な責任をいかに少なくするかという方向で急激に変化してきました。こうしたなかで「栃木障害者の自立をめざす会」はどのような存在意義があるといえるのでしょうか。私たち民間社会福祉には、公的な社会福祉の遅れをカバーし代替するといった消極的な理由だけではなく、社会福祉の分野で民主主義の「かまど」の役割を発揮するということが求められています。障害を持つ仲間たちをはじめとする、市民一人ひとりが社会福祉の主人公（主催者）ということを基本にすえて、この地域で多くの市民と結びつき、輪を広げながら、権利としての社会福祉実現の前進に参加・貢献できるよう、これからもみなさんとともに歩んで行きたいと思えます。